



保育科通信

第2号 平成29年4月13日

お互いの成長を目指して・・・

11日（火）に保育科対面式を行いました。

保育科対面式は、入学したばかりの1年生が早く高校生活に慣れることと、学科の縦の繋がりを作り上げることを目指す行事です。今年も2年生、3年生から保育科で学ぶことや保育科で身に付けた技術を1年生に伝えました。

対面式を終えた生徒たちの感想からは、3学年それぞれの思いや成長が感じられました。



トーンチャイムの演奏



2年生の説明



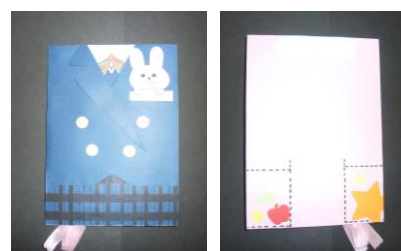
紙芝居の実演



手遊び



カードのプレゼント



カード



校長先生より



1年生の挨拶

< 1年生の感想 >

- ・初めて保育科の先輩に会って私達も先輩のようになれるようにがんばろうと思いました。保育科でこれから学ぶことは今まで経験したことがないことばかりでわくわくします。まだ少し不安もあるけれど、同じクラスの41人の仲間と共に、3年間たくさん学ぶことを学びます。
- ・とても感動して、「入学した」という実感がわきました。先輩方の歓迎の気持ちがよく伝わってきました。
- ・本当にびっくりしました。想像を上回りました。先輩方の技術に驚きましたが、表情や気持ちに感動しました。
- ・とくにすごかったのは、紙芝居です。私もあの先輩のようになりたいと思いました。
- ・私も1年後、2年後には先輩方のようにしっかりと指導できるかっこいい先輩になりたいと思いました。鴻巣女子高校に入学出来て、本当によかったと感じる時間になりました。
- ・新しい環境になれず、最初はとても緊張していましたが、先生方や先輩方の明るく楽しい雰囲気のおかげで、これからの高校生活が楽しみになりました。トーンチャイムの演奏や紙芝居は思わず聞き入ってしまいました。手遊びは、見よう見まねでしたが、楽しくできました。プレゼントでもらったカードは細かいところまで工夫されていて、来年は自分たちがそれをつくる番なのだと思うと、自分ができるか不安になりましたが、少しでも先輩方に追いつくことができるように頑張りたいと思います。
- ・2年生の先輩が1年生の時の学習や検定のことを教えて下さったのでこれからたくさん努力していきたいと思いました。手作りのかわいいプレゼントにはおどろきました。しかけもあり、感動しました。このような会を開いていただけてうれしかったです。
- ・2年生、3年生の先輩のお話し、発表はとても素敵でした。紙芝居では文字を見ないで、みんなの顔を見てお話ししていたのがすごかったです。
- ・すごく不安でしたが、先輩たちはとても優しく目が合うとニコッとしてくれて、すごくほっとしました。人前に立っても明るく、周りを見ていて本当にすごいと思いました。紙芝居をあんなにすらすら読めるのは、たくさん練習しているんだなと思いました。自分もこんなすばらしい先輩のようになれるのか不安ですが、あきらめずに取り組んでいきたいです。

みんなで記念撮影



<2・3年生の感想>

- 去年、手遊びを少し恥ずかしい気持ちで行ったことや、カードをもらって感動したこと、先輩方の堂々とした姿に驚いたことなど様々なことを思い出しました。今年は先輩として迎える側で保育科対面式に参加して、1年生を迎える気持ちに加えて、私たちが来年は先輩方のように対面式を作り上げることができるかと不安な気持ちもありました。1年間を通して、クラスで成長していけたらいいと思います。保育科生として、これからも引き続き頑張っていきます。
- 自分が憧れて先輩みたいになりたいと思っていた場所に立ち、1年生の名前を呼んでいました。緊張が解けずうまく声が出ない子、期待でいっぱいニコニコと笑っている子、様々な子にカードを手渡すことができました。すべてのカードが私たちの手元からなくなった時、何か解放されたような、区切りがついたような、そんな気持ちになりました。1年生と一緒にフレッシュなスタートを切りたいです。先輩の2年生の生活の話を聞いて、早すぎるこの高校3年間の内の1年をもっともっと有意義に使いたいと改めて思うことができました。「さすが」といわれる保育科2年生になれるよう、クラスが団結して志を高く持って行動し、結果を残していけるよう頑張ります。
- 同じクラスの人の発表を見て、同じ学年で同じクラスなのに自分が置いていかれている気がしました。この1年、しっかりと力をつけたいと思いました。2年生、がんばります。
- 1年生を見て、一昨年のことを思い出しました。新しい環境に緊張していたあの頃・・・全てが懐かしかったです。対面式の中では、2年生の紙芝居が凄いいました。場面の切り替えがスムーズだと後ろから見てもわかりました。お祝いのカードは、私も欲しくなるくらい可愛いカードだと思いました。今日、対面式を行って改めて先輩としての自覚や実習がもうすぐ始まると感じました。
- 私は、3年生では気合いを入れて何事も頑張りたいと思い、今回は勇気をもって手遊びのお手本に取り組みました。練習の時にまちがえてしまい、とても不安でしたが、本番は大きく動き、大きく歌うことができました。これからも積極的につかめるチャンスをつかんで、苦手なことも克服したいと思いました。いつのまにか最上級生になってしまいました。最上級生として恥ずかしくない先輩になりたいと思いました。
- 今の私たちは、1年生からどのように見えたのか不安です。また、昨年私が感じたような2年生と3年生の差があったのかと思います。先生方からいただいた「感動した」というお褒めの言葉を否定するつもりはありませんが、まだまだ満足してよいレベルではないと思います。1年生の良い見本となるためにも、これからもっと一つ一つに全力で取り組み、自覚をもって日々精進していきたいです。
- 今日の保育科対面式に参加して、改めて3年生になったということ、自覚をもって物事に一生懸命取り組もうという気持ちになれました。紙芝居やカード作りを頑張っている2年生、保育科生としてスタートした1年生を見て、自分たちが立ち止まっていたらだめだと、気持ちを新たにできました。今まで学んできたことを十分に生かせるように、何事も前向きに挑戦していきたいと思いました。また、自分たちは本当に恵まれているのだと改めて感じました。こうした環境で学ばせていただいている、という感謝を忘れずに、残り1年、全部を全力で頑張ろうと思いました。先生方、よろしくお願い致します。